

殺しが静かにやって来る (1968)

IL GRANDE SILENZIO
THE GREAT SILENCE
LE GRAND SILENCE [仏]

メディア 映画
ジャンル 西部劇
製作国 イタリア／フランス
時間 102分
初公開日 1969/09/23
公開情報 FOX
リバイバル 1995/03 [ケーブルホーグ=PSC]

【解説】

賞金稼ぎを生業とする残虐な無法者集団。彼らは無垢の人々をも手にかけ、一顧だにしない冷酷さを持っていた。彼らに夫を殺された未亡人は、ひとりの男に復讐を依頼する。“サイレンス”と呼ばれるその男は、幼いときに両親を殺され、自分も声帯を切り裂かれて声を失っていた。そして、彼をそんな目に会わせたのが、その無法者たちのボスだった……。 “サイレンス”に扮するトランティニャンと、彼と対決する事になる凄腕の賞金稼ぎロコに扮するキンスキー。名優二人の名状しがたい存在感を得て、S・コルブッチが紡ぎあげた凄絶な西部秘史で、数あるマカロニ・ウェスタンの中でも、その陰鬱さと設定の特殊さ（舞台となるのは一面、雪に覆われたスノーヒルという町）で群を抜く異色作。物語の血なまぐささを尚更際立たせるかのように、真っ白の雪世界を捉えたイッポリティのカメラと、モリコーネのスコアは美しい。それにしても何とイキな邦題よ！

【クレジット】

監督	セルジオ・コルブッチ	Sergio Corbucci
脚本	セルジオ・コルブッチ	Sergio Corbucci
	ヴィットリアーノ・ペトリリ	Vittoriano Petrilli
	マリオ・アメンドラ	Mario Amendola
	ブルーノ・コルブッチ	Bruno Corbucci
撮影	シルヴァーノ・イッポリティ	Silvano Ippoliti
音楽	エンニオ・モリコーネ	Ennio Morricone
出演	ジャン＝ルイ・トランティニャン	Jean-Louis Trintignant
	クラウス・キンスキー	Klaus Kinski
	ヴォネッタ・マギー	Vonetta McGee
	フランク・ウォルフ	Frank Wolff
	ルイジ・ピスティリ	Luigi Pistilli
	マリオ・ブレガ	Mario Brega